

俳句を楽しむ会

夏季作品
優秀作発表



和(なごみ)
100g入り1袋
630円税込価格



秋澄むや一日の無事を汲む朝茶

(大月) 武川幹雄

「朝茶はその日の難のがれ」は、古人からよく聞いた言葉。余裕を持って朝茶を頂くには早起きが肝腎。「朝起きは三文の徳」の諺もある。熱いお茶を頂いて戸外に出ると、秋の空は真青に快晴。今日も元氣が出る。

幕間の楽屋の膝に玄米茶

(上野原) 小山 仁

劇場で一幕終わって次の幕が開くまでの幕間。休みする役者の膝元運はれてきたのは玄米茶。玄米茶は、番茶や煎茶の焙じたものに玄米を混ぜたもので、力強く活力も出そう。よき舞台を努めてくれることであらう。

新涼や祝いまんじゅうお茶熱く

(大月) 小林秀子

何のお祝いであろうか。誰かの誕生日、それとも、近所のお祝い。暑い夏も過ぎ、やっと涼しさを感ずるこの頃。おまんじゅうにはなんと、熱いお茶が一番。熱いお茶でおいしいおまんじゅうをはおほり、新涼のお祝いを言はう。

何よりも茶が一番と老人会

(北杜) 矢崎きよみ

老人クラブなどの会合でよく聞く言葉。「何よりもお茶がひとは」若い頃より、近隣の人や友人と親しみ交わしたお茶飲み話。切つても切れないお茶とのつながり。程よいお茶を頂きながら、楽しくにぎやかな老人会。

母の日は湯呑みを並べ祝いけり

(上野原) 青山章一

五月の節、百曜日は母の日。日頃お世話を頂くばかりのお母さんに、この日だけはなんとかお報いしたい。この時はかりは茶器も色取りよく賑やかに揃え、お母さんの好物も並べて、おもはゆいながら深く敬意を表したい。

佳作

長命は茶の恩寵や今朝の秋 (甲府) 三枝 風樹
 茶柱の立ちし朝餉の夏衣 (大月) 湯沢 正枝
 長き夜や茶瓶囲みて若やける (身延) 小林 利典
 今朝の秋茶柱に夢紡ぎけり (甲府) 三枝 春香
 ナツメロを聴きて飲む茶の長き夜 (甲府) 小泉 一布
 弁護士のお茶の接待胡蝶蘭 (都留) 磯村 桂泉
 暑気払い最後に熱きお茶で締め (上野原) 山口 秀子
 冷茶よし温き茶もよし蟬時雨 (甲府) 小泉 節子
 兄妹の来て茶をたてる涼新た (身延) 小林 恭子
 今朝の秋母にやさしく朝茶汲む (甲府) 米山 正雄
 暑気払い朝茶飲みほしむ仕事 (甲斐) 三川 凡夫
 お茶酌みつ子等の声聴く秋祭 (山梨) 古屋理恵子
 炎暑来て六腑に染みる冷茶かな (大月) 湯沢 正典
 急須展観たあと頂く抹茶かな (笛吹) 植松自由人
 茶は染みる暑気を払い心にも (上野原) 小山 智美

次回作品募集のご案内

● 次の応募締切は十二月三十一日(月) 消印有効になります。
 ● テーマはお茶や紅茶を折り込んだ季節の香りを楽しむ俳句を募集します。
 ● 応募頂いた作品の中から優秀な作品には素敵なプレゼントを用意しています。
 ● 発表は年四回新聞広告にて発表します。
 ● 選者は県内で俳句活動を行われている渡辺柳風先生にお願いいたします。
 ● (先生には選考にあたり表現上の添削もお願いしております。ご了承下さい)

方法 ● ハガキで愛和園本店まで郵送していただくか、左記直売店までお持ちください。お一人様何点でも応募できます。● 応募いただく作品は未発表の物に限ります。また、応募作品は返却いたしません。● 作品には応募者の住所、氏名、年齢、電話番号を記入ください。ペンネームで応募される方は、ペンネームの下に(本名を括弧で囲んでください)。

味と香りのコミュニケーション



本店 山梨県甲府市太田町四一七
TEL・055(235)5075

直売店 ● 太田町本店 ● ジョイイ店 ● 湯村店
● 山交店 ● リバーシティ店

ご応募いただく個人情報が入選作品のプレゼント発送に利用します。また、愛和園からの季節の知らせにも利用させていただきます。但し、必要でない方は、その旨応募時のハガキ表面に記入願います。その目的以外での個人情報の利用は行いません。